

# ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり

## 【みちづくりの方向性】 ①ウォーカブルで快適な歩行空間の創出

### 主な施策2-1 魅力的なみちづくり

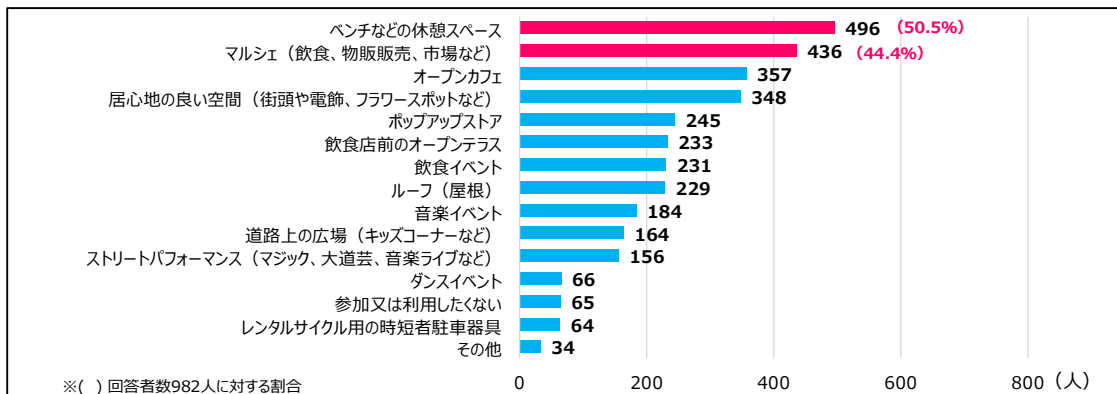
#### ○ほこみち(歩行者利便増進道路)路線指定の促進

この制度は、道路空間を柔軟に活用し、まちの活性化や歩行者の利便増進を図るために道路法の一部を改正し、令和2年に創設されたものです。

道路管理者が歩行者利便増進道路及び利便増進誘導区域に指定した道路では、商店街組合や民間団体等が一定の条件下で歩行者の利便増進や地域の活性化等のために、ベンチやテーブル、食事・購買施設、露店等の物件を占有することができます。

また、道路サポーターに加入していただくため道路占用料を90%減額します。

市民アンケートでは、ほこみち制度を活用したもので、どのような取り組みについて参加したいか設問したところ、約5割の方がベンチ等の休憩スペース、約4割の方がマルシェ(飲食、物販販売、市場等)と回答していました。

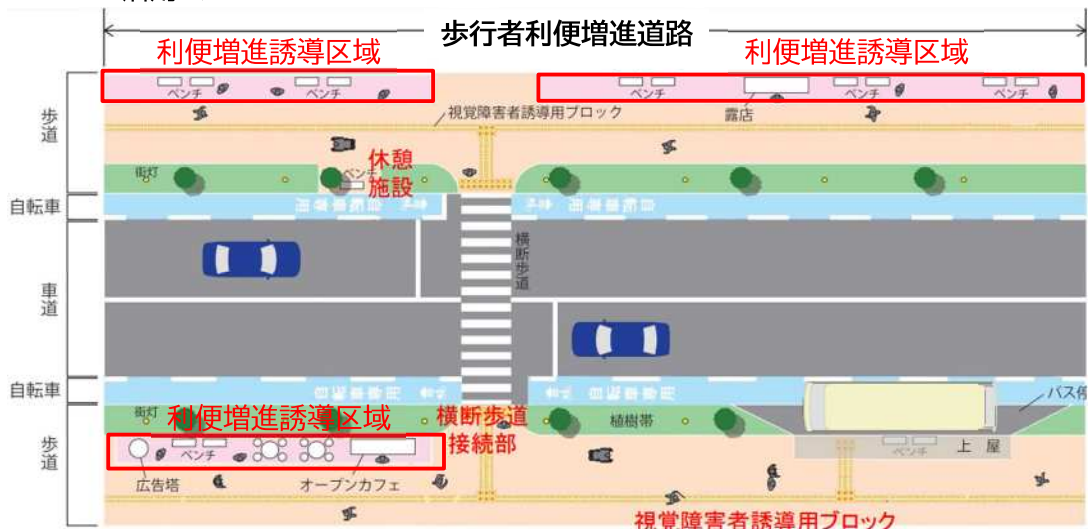


▲活用イメージ



▲魚町銀天街(小倉北区) 令和6年10月開始

～実施箇所～  
小倉都心部、地域拠点、  
商店街 など



▲ほこみち占用概略図

## ○都市ストックの有効活用

### <公共空間の利用促進>

観光地やまちなかにおいて、継続的ににぎわいを創出して本市の魅力向上を図るため、道路、公園、河川等の公共空間を民間団体が活用しやすくするための占用ルール、窓口を記載した看板の設置や SNS 等により幅広く周知を行います。



▲紫川沿いの公共空間(小倉北区)

### <おもてなしベンチの整備>

歩行者が道路上で休憩や待ち合わせができるように清掃の協力が得られる場所においてベンチを設置します。

～実施箇所～

- ①バス停付近
- ②商業施設周辺
- ③ウォーキングコース など



▲まちなかのベンチ(イメージ)

### <移動販売スペースの確保>

高台の住宅地等、歩いて商業施設に行くことが困難な地域において、条件を満たす自治会を対象に、既存の道路空間を活用して移動販売車両の駐車スペースを確保します。



▲移動販売スペース(イメージ)

## ○道路空間の再編成

人口減少、シェアリング等の普及や MaaS の推進に伴い、自動車総量の減少が見込まれる中、道路空間の再編成の第一歩として車道の一部空間を転用し、パークレットなどまちなかのウォークブルな空間を創出します。



▲対象路線例(BIZIA 小倉周辺)



▲パークレットイメージ(大阪市)

## ○観光案内の充実

観光地周辺の道路において、案内を充実させ、観光地までのアクセス性を向上させるため、主要な駅やバス停から観光地までの歩道等にルート案内の設備を合わせて行います。

### 整備事例



▲誘導サイン



▲路面サイン



## 主な施策2-2 景観に配慮したみちづくり

観光資源を磨き上げて情報発信するため、長崎街道等の沿線の風景や自然、歴史、文化などの資源を活かして、訪れる人をもてなし、よろこびや感動をもたらす風景街道の知名度を向上させる活動を行います。

この取り組みは、平成17年度から国土交通省が全国で「日本風景街道」として進めているものであり、令和6年7月現在、全国で145ルート、九州で15ルートが登録されており、その中の一つが「北九州風景街道」です。

【目的】「次世代への継承」「地域活性化」「観光振興」を通して、団体間の交流を促進し、各活動を街道でつなぎながら、「街道(みち)」の魅力を高めること。

【組織】街道の歴史や魅力の発信などを行っている団体等で構成する「北九州風景街道(長崎街道)推進協議会」が官民協働で活動を行っている。

### 【これまでの取り組み】

#### ◇風景街道 DAYS in 小倉の開催

- ・北九州風景街道の魅力発信を目的とした「風景街道 DAYS in 小倉」を小倉城天守閣前広場特設テントにて開催しています。
- ・期間中は、「風景街道クイズラリー」や「缶バッジ作り体験」、「駕籠&フォト体験」などを実施しています。

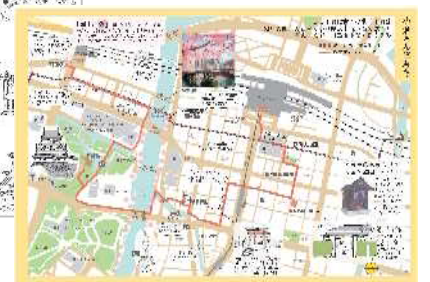


#### ◇北九州風景街道フォト&アートコンテストの開催

- ・北九州風景街道(木屋瀬から門司港)のルート沿線にある、風景・自然・歴史・文化等の地域資源をより多くの方に知っていただくため、フォト&アートコンテストを開催しています。
- ・令和5年度は13回目の開催を迎えています。



#### ◇ゆっくり歩き帖(製作、配布)



## 主な施策2-3 こどもまんなかみちづくり

### ○こどもまちなかスペース及び駅周辺のルート整備

本市では、こども連れやベビーカーが通リやすく安心して歩けるように歩道の段差解消や、交通結节点での乗り継ぎや公共交通乗降場から商学施設までのルートで雨に濡れないルーフの整備を進めます。また、保育所や公共施設への安全なルートを確認し、地域全体での子育て支援に取り組みます。

～主な整備箇所～

「北九州市こどもプラン」の取組と連携し、子育て世帯等の意見を聞いた上で整備箇所を決定します。

- ① 駅周辺や交通結节点
- ② 公共交通施設とショッピングモールやこども連れで訪れる施設(公共施設・公園など)を繋ぐ道及びその周辺
- ③ 公共交通施設と「こどもまちなかスペース」等の市の施策の対象施設を繋ぐ道及びその周辺
- ④ 保育所のお散歩ルート(保育所と最寄りの公園など)での障害の撤去や安全性の向上

### <こども・子育てに優しいまちづくり概要>



○こどもやこども連れの保護者が  
歩きやすい歩行空間の整備への  
支援を強化  
【都市・地域交通戦略推進事業】



歩道の拡幅・段差解消 バリアフリー交通施設 (EV等)

資料:令和6年度都市局関係予算概算要求概要  
(令和5年8月国土交通省都市局)



▲ルーフ整備のイメージ  
(戸畑駅前広場)



▲歩道の段差解消

出典:鳥取県福祉のまちづくり施設整備マニュアル